

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	1	教育総務費	3	教育振興費	210106	上美生地区山村留学推進事業

事務事業名	上美生地区山村留学推進事業
-------	---------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・道外からの児童生徒を受け入れることによって、教育環境の整備や複式学級の解消を目指す。 ・上美生地区山村留学推進協議会に対する補助及び指導員の配置 ・児童生徒募集業務、交流事業の開催
2. 対象(何を対象にしているか) 上美生小・中学校
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 複式学級の解消 教育効果の向上

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 平成7年11月の上美生地区山村留学推進協議会設立を契機として、複式学級の解消を目的に、平成9年度から受入れを開始。町の事業として、 ・上美生地区山村留学推進協議会に対する補助 ・ふるさと交流センターやまなみの維持管理、及び運営の委託 ・親子留学用住宅の維持管理を実施している。 全国的に山村留学の活動規模は縮小傾向である中、毎年度一定数の受入を継続している状況である。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 保有する施設については、事故や生活への影響が生じないように、適切に維持管理を継続していく。 芽室町立小中学校配置計画と関連して、上美生小・中学校については児童・生徒数の減少に伴い、今後配置基準を満たさなくなる可能性がある。ふるさと交流センター、親子留学用住宅については、築年数の経過とともに老朽化も進んでいることから、前述の可能性を踏まえながら効果的な改修を実施していく。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	375,809	7,649,220	1,916,000
	一般財源	円	3,648,397	8,126,708	13,259,000
	事業費計	円	4,024,206	15,775,928	15,175,000
活動指標	協議会への補助額	円	1,051,203	927,330	1,265,000
	親子留学住宅戸数	戸	2	2	2

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
山村親子留学用住宅貸付収入	円	218,836	237,000	342,000
臨時労働保険個人負担金(教育振興費)	円	156,973		
ふるさと交流センター使用料	円		865,330	966,000
寄附金管理基金繰入金	円		6,482,000	
電気使用量(教育振興費)	円		64,890	88,000
公共施設整備基金繰入金	円			520,000
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 山村留学推進事業に要した経費

山村留学の状況(年度末時点実績)

・センター留学	小学生	1名
	中学生	4名
・親子留学	中学生	3名
	小学生	1名

上美生地区山村留学推進協議会補助金 927,330円

・事業部

(1)デイキャンプ

実施日:7月15日
 実施場所:札内川園地キャンプ場
 参加人数:45名

(2)乗馬体験

実施日:8月19日
 実施場所:どさんこ牧
 参加人数:35名

(3)探検

実施日:10月21日
 実施場所:柳月スイートピアガーデン
 参加人数:44名

(4)哺乳体験(例年のホームステイに代わり実施)

実施日:10月9日
 受入者:1戸
 参加人員:4名

(5)スキー教室(他町で開催予定も、雪不足により中止)

実施日:-
 実施場所:-
 参加人員:-

・募集部

- (1)ホームページ(ブログ等)やSNSの運営による情報発信
- (2)役員研修・視察・山村留学アピール

・事務局

(1)月例役員会	10回
(2)役員会	2回
(3)体験入学生との面談	7回
(4)選考委員会	6回
(5)関係機関訪問	1回

・問い合わせ等状況 延べ30件

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	1 教育総務費	3 教育振興費	210205 児童生徒支援事業

事務事業名	児童生徒支援事業
-------	----------

(1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>①児童生徒・教職員・保護者へのカウンセリング、助言・提言、情報収集・提供及び不登校児童生徒に対する支援を行う。</p> <p>②個別の支援が必要な児童生徒に学校生活での支援を行う。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>①児童生徒、教職員、保護者</p> <p>②個別の支援が必要な対象児童</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>①児童生徒の問題行動等の未然防止を図る</p> <p>②個別な支援が必要な児童一人ひとりが、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善しながら自立を図っていく</p>

(2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な配慮を必要とする児童生徒のため、教育活動指導助手及び支援員を配置する。 ・教員免許を持つ臨時教諭を配置し、小中学校全学年30人以下学級編制を町費で実施。 ・学校生活に関する相談窓口として、スクールライフアドバイザーを配置。 ・不登校児童生徒への支援のため、教育支援センターを開設。令和4年度からは、民間へ業務委託。 ・発達支援システムと教育とのスムーズな接続と、特別支援教育の相談対応のため、地域コーディネーターを配置。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査においては、町内小・中学校ともに全国平均を下回っており、学力向上が課題となっている。 ・全町的に不登校児童生徒の数が増加しており、不登校や問題行動の早期発見・早期対応が求められる。
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談体制を充実させ、児童生徒の居場所拡充など、多様な児童生徒の教育的ニーズに対応できる体制を確保する。 <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールライフアドバイザーの学校相談体制や複数配置を検討する。 ・不登校の児童生徒の居場所拡充のため、メタバース構築を検討する。 ・町費により臨時教諭(任期付)を配置することで、小・中学校全学年において、30人以下学級編制を実施する。(令和5年度:小学校2学級、中学校1学級に配置、令和5年度は中3は対象外) ・個々の発言・表現や協働的な学びの場等の機会を増加させることにより、教育の質の向上を図り、全国学力・学習状況調査において、全国平均以上を目指す。 ・不登校未然防止のため、不登校リスクを把握するための学校風土調査を行いアセスメント向上を目指す。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円	1,337,000	1,296,000	1,349,000
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	2,229,395	2,503,832	2,722,000
	一般財源	円	33,045,325	33,754,522	36,910,000
	事業費計	円	36,611,720	37,554,354	40,981,000
活動指標	スクールライフアドバイザー・教育支援センター指導員人数	人	1	1	1
	教育活動指導助手・支援員人数	人	18	18	18

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
教育支援体制整備事業国庫補助金	円	1,337,000	1,296,000	1,349,000
会計年度任用職員労働保険個人負担金(教育振興費)	円	2,229,395	1,942,832	2,398,000
教育支援センター利用負担金	円		561,000	324,000
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

児童・生徒の支援のため、以下のとおり専門の職員を配置した。

	職種	区分	内容
1	スクールライフアドバイザー	会計年度任用職員	児童生徒へのカウンセリング、教職員・保護者への助言・提言、情報収集・提供を行う。
2	教育支援センター指導員	委託	教育支援センター「ゆうゆう」にて、登校に支援が必要な児童生徒の指導を行う。
3	臨時教諭	任期付職員	臨時教諭を配置し、小中学校全学年30人以下学級編制を町費で実施。
3	教育活動指導助手	会計年度任用職員	普通学級にて、困り感のある児童生徒への指導の補助を行う。
4	学校支援員	会計年度任用職員	特別支援学級在籍で個別の支援が必要な児童生徒への支援を行う。

1 スクールライフアドバイザー活動状況

(1) 学校別相談件数

	芽室小学校	上美生小学校	芽室西小学校	芽室南小学校	芽室中学校	上美生中学校	芽室西中学校	合計
児童生徒	5				58		6	69
教職員	46	3	4	1	221	1	54	330
保護者	70	2	4		78	8	32	194
計	121	5	8	1	357	9	92	593

※その他135件(卒業生及び卒業生保護者61件、関係機関等74件)

※参考 令和5年5月1日現在児童生徒数及び教職員数

	芽室小学校	上美生小学校	芽室西小学校	芽室南小学校	芽室中学校	上美生中学校	芽室西中学校	合計
児童生徒	577	30	301	77	381	22	147	1,535
教職員	40	10	27	14	31	14	17	153

(2) 相談内容別件数(重複あり)

相談項目別	小学校	中学校	その他	合計
いじめ	10	5		15
不登校	44	121	21	186
友人関係	3	36	5	44
教員との関係	17	7	2	26
学業・進路	35	210	24	269
発達相談	9	34	16	59
家庭環境(虐待含む)	7	6	5	18
自身の問題(身体・性格・行動)	6	2	10	18
その他	6	34	53	93
合計	137	455	136	728

2 教育支援センター指導員の活動状況

令和4年度より民間の学校法人へ業務委託。指導員を1名配置し、月～金曜日の9時30分から14時30分までの間、教育支援センターにて児童生徒への指導を行った。

※令和5年度末の在籍児童生徒数 25名(小:7名 中:18名)

3 臨時教諭の活動状況

芽室小学校に2名、芽室中学校に2名を配置した。

4 教育活動指導助手の活動状況

芽室小学校に2名、芽室西小学校に2名、芽室中学校に2名、芽室西中学校に1名の合計7名を配置した。

5 支援員の活動状況

芽室小学校に6名、芽室西小学校に2名、芽室中学校に3名の合計11名を配置した。

6 アセスメントツール実証

学校風土調査: 小学校4校、中学校2校で実施した。

(中学校1校は道教委事業指定のため他アセスメントツールを使用、令和6年度より学校風土調査実施予定)

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名	
9	教育費	1 教育総務費	3 教育振興費	210206	大学等就学支援事業

事務事業名	大学等就学支援事業
-------	-----------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ①私立高等学校生徒の授業料補助申請の受付・審査・交付 ②大学等奨学金申請の受付・審査・貸付
2. 対象(何を対象にしているか) 経済的理由により支援を必要とする私立高等学校に在学させている世帯の保護者及び大学等の就学者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 義務教育終了後の就学機会の確保及び経済的負担の軽減を図る。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・奨学金貸付について、条例で定められている貸付条件の判定に係る選考基準を廃止したことにより、貸付申請の増加と返済免除の増加が見込まれ、一般財源の増加も想定される。 ・社会的経済状況から、奨学金の返済が滞って滞納繰り越しになったり、連帯保証人を通じて返済するケースが出てきた。 ・私立高等学校生徒授業料補助生徒は令和2年度より国の就学支援金の改正により補助対象者で管内の全日制私立高等学校に通う生徒の授業料は無料となったため、管外の私立高等学校に通う生徒の保護者及び通信制の私立高等学校に通う生徒の保護者のみが対象者となった。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・奨学金貸付制度については、奨学生及び連帯保証人に債務を負う責任を十分理解し、適切に利用してもらえるように進めていく。 ・奨学金償還免除制度については、効果的に奨学生に印象付けられるよう周知に努める。 ・国は令和4年度に若者の地方定着促進として大学等を卒業後、当該市町村名地に居住する場合に市町村からの支出により奨学金返還の全部又は一部を特別交付税措置とする改正を行ったことから、本町の同制度について、財源及び貸付申請者双方の観点に立ち検証する。 ・私立高等学校生徒授業料補助制度については、国及び北海道の同様の補助制度に連動するよう状況に合わせて実施を続ける。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	16,615,000	11,870,000	18,612,000
	一般財源	円	9,045,000	26,054,000	4,428,000
	事業費計	円	25,660,000	37,924,000	23,040,000
活動指標	私立高等学校授業料補助申請件数	件	15	11	15
	大学等奨学金貸付申請件数	件	45	63	40

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
大学等奨学金貸付金元金収入	円	16,615,000	11,870,000	18,612,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 私立高等学校生徒授業料補助 324,000 円

- 認定者 月額 3,000 円以内 11 人
- ※ うち補助金支給対象者(自己負担0円の場合は支給無し) 9 人

	町内生徒数	申請者数	認定者数	不認定者数
帯広大谷高等学校	47			
帯広北高等学校	26			
白樺学園高等学校	34			
池上学院帯広キャンパス	9	1	1	
星槎国際高等学校	22	7	7	
その他(十勝管外・単位制)	24	3	3	
合 計	162	11	11	

2 大学等奨学金の貸付 59 人 37,600,000 円

○ 通常貸付分

貸付者 39 人

- ・入学金 300,000 円 × 8 人 = 2,400,000 円
 - ・修学金 500,000 円 × 38 人 = 19,000,000 円
 - ・修学金 200,000 円 × 1 人 = 200,000 円
- 合計貸付金額 21,600,000 円

○ 入学前貸付分(令和5年度新入学生分)

貸付者 20 人

- ・入学金 300,000 円 × 20 人 = 6,000,000 円
 - ・修学金 500,000 円 × 20 人 = 10,000,000 円
- 合計貸付金額 16,000,000 円

		1年		2年	3年	4年	計	
		通常	年度前	通常	通常	通常	通常	年度前
大学院	国公立	1	1				1	1
	私立							
大学	国公立	2	3	1	3	2	8	3
	私立	6	6	4	3	4	17	6
短期大学	国公立							
	私立	1		1			2	
専門学校	国公立							
	私立	2	10	4	3	1	10	10
その他	国公立	1					1	
	私立							
計	国公立	4	4	1	3	2	10	4
	私立	9	16	9	6	5	29	16

○ 令和5年度末奨学金償還状況

内 容	実 績	備 考
令和5年度償還人数	112人	うち滞納繰越者 3名
令和5年度償還予定額	12,950,000円	うち繰上償還額 410千円
令和5年度償還滞納繰越額	710,000円	H28:70千円、H29-R3:各年80千円、R4:240千円
令和5年度償還額(現年分)	11,710,000円	うち繰上償還額 410千円
令和5年度償還額(滞納繰越分)	160,000円	
令和5年度償還免除額	350,000円	償還免除者 7名
償還未済人数	210人	
償還未済額	185,550,000円	

R4末貸付残高 + R5貸付金 + (R5償還金 + 繰上償還金 + R4滞納 + 免除額) = R5末貸付残高
 160,170 + 37,600 + (△ 11,300 + △ 410 + △ 160 + △ 350) = 185,550 千円
 ※令和5年度中増減高 25,380 千円 【H28-R5滞納繰越 1,080 千円含む】

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	1	教育総務費	3	教育振興費	210501	教員住宅管理事業

事務事業名	教員住宅管理事業
-------	----------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 教職員住宅の維持管理(修繕、改修工事等)
2. 対象(何を対象にしているか) 教職員 教職員住宅
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 安全・安心・快適な住環境を確保する。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 転勤のある教職員に対し安定的な居住先を確保し、円滑な人事配置を実現するため、福利厚生観点から教職員住宅の維持管理を行う。 教職員住宅の老朽化の進行や、交通・住環境の整備に伴い需要が低下している。 これを踏まえ、学校管理職の居住については、条件を満たした場合、居住が必須ではないと整理し、これに伴い一部の管理職用住宅は用途廃止することとした。また、麻生町の戸建住宅9棟については、令和6年度から所管を都市経営課へと変更し売却に向けた手続きを進めている。 令和5年度に小学校費、中学校費で運用していた各事業を統合し、1事業とした。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 建物の長寿命化、統廃合等を具体的に検討していく時期に差し掛かっている。このことから、今後の具体的な方針を定めていく。 芽室町公共施設等総合管理計画、教員住宅の在り方基本方針に基づき、統廃合、維持管理を整理する必要がある。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円		2,886,253	2,589,000
	一般財源	円		6,995,716	△ 560,000
	事業費計	円		9,881,969	2,029,000
活動指標	修繕件数	件		25	25
	工事数(対象戸数)	戸		2	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
教員住宅貸付収入	円		2,886,253	2,589,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 教職員住宅の整備

(1) 教職員住宅の老朽化に対応し、居住環境の向上を図るため、内装改修等の工事を実施した。

上美生教員住宅屋根外壁改修工事(T-7,T-8)	8,723,000円
	8,723,000円

(2) 教職員住宅の居住環境を整えるため、以下の修繕を実施した。

上美生中学校教員住宅T-7 混合栓取替修繕	38,786円
西中教員住宅N-1台所水栓水漏れ修繕	6,380円
中学校教員住宅(F-11-3) ガス漏れ警報器修繕	5,500円
上美生中学校教員住宅 ホームタンク他エアー抜き点検等修繕	3,850円
芽室西中学校 教頭住宅照明器具取替修繕	21,120円
教員住宅S-9 トイレ修繕	9,416円
上美生教住(T-9) 網戸交換修繕	13,200円
上美生教員住宅(S-9)トイレ交換修繕	126,500円
上美生中学校教頭住宅破風板軒天修繕	52,800円
上美生中学校教頭宅ストーブ修繕	5,500円
上美生教員住宅(S-5)水道管凍結修繕	29,425円
教員住宅トイレ水漏れ修繕及び換気扇取替修繕(F-12-2)	40,700円
上美生教員住宅(T-7、T-8)外部排水管割れ修繕	66,000円
上美生教員住宅(S-9)浴そうフタ修繕	4,080円
教員住宅(F10-1)レンジフード修繕	27,500円
上美生教員住宅(S-5)給水配管漏水修繕	5,500円
麻生町教員住宅(F-11-1)水漏れ修繕	91,300円
上中校長住宅(T-1)灯油タンク修繕	13,200円
教員住宅(T-1)台所シングルレバー用カートリッジ	10,450円
教員住宅(F10-2,F11-4)台所混合栓カートリッジ取替修繕	38,500円
教員住宅(F14-1)不凍栓ピストン取替修繕	16,280円
教員住宅(S-6)台所混合栓取替修繕	49,500円
麻生町教員住宅(F11-1)床・巾木取り合い隙間部分修繕	36,850円
F-10-4 台所漏水修繕	6,600円
上美生教員住宅(S-5)基礎換気口取替修繕	93,280円
	812,217円

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
上美生教員住宅屋 根外壁改修工事	8,723,000	0	0	0	8,723,000	(有) 高橋工務店 R5.11.6~R6.1.15
合 計	8,723,000	0	0	0	8,723,000	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
9	教育費	1	5	給食センター管理費	210301	学校給食センター施設維持管理事業

事務事業名	学校給食センター施設維持管理事業
-------	------------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 学校給食業務を円滑・効果的に実施するための施設設備について、適切な維持管理を行う事業。
2. 対象(何を対象にしているか) 学校給食センター施設、機械設備。
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 学校給食業務がスムーズに行えるよう、日常の保守点検を怠りなく実施し、学校給食センターの施設や機械設備のトラブルに迅速に対応する。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 現在の学校給食センターは建設後23年を経過しており、設備・調理機器の計画的な改修・更新を実施していることから、修繕件数はここ数年、減少傾向にある。今後も安全安心な学校給食を提供するため、2015年度に策定した「給食センター施設整備・備品等購入年次計画」に基づき設備・機器の改修・更新・修繕を実施していく。 近年、男性職員の応募や任用が増えているが、更衣室やトイレ等、施設の構造上の理由により、複数の男性職員を任用することが難しく、また、できる業務も限られてしまう状況である。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 現在の学校給食センターは建設してから23年が経過しているが、今後も20年程度は現施設を使用することが想定されるため、長期的な施設整備・備品等の購入・改修について、計画を見直しながら実施していく。 緊急修繕については従来どおり給食提供に支障がでないよう対応していく。 学校給食法で規定する「学校給食衛生管理基準」に基づき、衛生管理の徹底と強化を図りながら施設維持管理を行う。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			2,321,000
	地方債	円		13,800,000	4,600,000
	その他(使用料等)	円	8,339,230	2,983,025	8,225,000
	一般財源	円	55,052,744	47,784,080	45,101,000
	事業費計	円	63,391,974	64,567,105	60,247,000
活動指標	施設維持管理費用	円	63,391,974	64,567,105	60,247,000

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
学校給食センター屋上防水改修事業債	円		13,800,000	
寄附金管理基金繰入金	円	8,215,000	2,859,000	726,000
学校給食試食代	円	6,601	19,967	57,000
給食センター職員給食代	円	117,629	104,058	160,000
公共施設整備基金繰入金	円			7,282,000
学校教育施設事業債	円			4,600,000
給食センター環境改善交付金	円			2,321,000

事務事業の成果に関する説明

1 光熱水費の推移(過去5年間)

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
重油	使用量(ℓ)	87,400	95,700	88,100	91,000	104,400
	金額(円)	8,862,116	8,452,180	9,738,740	11,132,000	12,944,910
ガス	使用量(m ³)	1,773	1,593	1,775	1,622	1,593
	金額(円)	1,375,236	1,383,437	1,391,984	1,274,174	1,251,921
電気料	使用量(kW)	398,613	394,043	431,409	408,846	430,208
	金額(円)	10,231,328	9,360,959	10,849,018	13,398,181	13,982,262
水道料	使用量(m ³)	10,523	8,954	8,345	8,178	8,960
	金額(円)	4,724,678	4,074,952	3,800,293	3,724,978	4,077,658

2 施設管理委託料の内訳

①特別清掃委託	2回/年	1,430,000 円	(株)かんきょう
②機械警備委託	年間	183,480 円	セコム(株)
③施設管理委託	年間	3,190,000 円	(株)かんきょう
④消防設備点検委託	2回/年	49,170 円	(株)ヤマト商会
⑤電気工作物保安管理委託	6回/年	336,600 円	(財)北海道電気保安協会
⑥ばいじん量測定委託	2回/年	92,400 円	カンエイ実業(株)帯広営業所
⑦機械設備保守点検委託	年間	1,650,000 円	(株)日本サーモエナジー釧路営業所
⑧調理機具保守点検委託	2回/年	825,000 円	日本調理機(株)北海道支店
⑨事業系廃棄物収集運搬委託	年間	317,061 円	(株)かんきょう
⑩残渣処理配管清掃委託	1回/年	45,155 円	(株)宮間工業
⑪貯水槽清掃委託	1回/年	44,000 円	クリーン開発(株)
⑫害虫生息調査・防除委託	3回/年	369,600 円	ノースアジャスト(株)ダスキン鉄南支店
⑬蜂駆除委託	3回	26,400 円	クリーン
合計		8,558,866 円	

3 建設工事等

①学校給食センター屋上防水改修工事	15,400,000 円	宮坂建設工業(株)
②学校給食センター空調機OAガラリ改修工事	1,070,300 円	(株)日本サーモエナジー釧路営業所
合計	16,470,300 円	

4 施設維持管理用備品

①冷凍庫	242,000 円	日本調理機(株)北海道支店
②器具消毒保管機	1,595,000 円	日本調理機(株)北海道支店
③高圧洗浄機	36,300 円	(株)三浦商店
合計	1,873,300 円	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
9	教育費	1	5	給食センター管理費	210305	学校給食管理運営事業

事務事業名	学校給食管理運営事業
-------	------------

(1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>町内小中学校7校に提供する学校給食を調理する学校給食センターの運営を行う。児童生徒が食する学校給食が基準に基づき安全確実に提供できるよう、衛生管理の徹底と円滑な調理・配食業務を行う。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>町内小中学校7校の児童生徒</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>学校給食による栄養バランスのとれた豊かな食事の提供により、栄養摂取バランスの改善ができる。また、優れた食事のモデル教材として食の学びの機会とし、正しい食習慣を知ることができる。</p>

(2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>道の栄養教諭配置基準に基づき現在1名の栄養教諭が配置されており、食育・食農教育等の体制強化として配置の町管理栄養士とともに、児童生徒の健全な成長発達を目指した業務等、関係機関との連携共同がますます重要となっている。また、調理業務の職員体制の安定化を図るとともに、業務を一部外部委託することにより、円滑な学校給食の運営を目指すことが必要である。</p> <p>少子化が進行する中、児童生徒数の減少に伴い給食提供食数は減少してきているが、食物アレルギーにより対応を要する児童生徒や、医療的ケアを必要とする児童生徒に対する個別対応事例が増加してきており、保護者・学校・医療関係者との連絡調整等を含めてより専門性の高い業務が増えてきている。</p>
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <p>生産者による食育・食農授業をはじめ、関係課・係及び町内関係者との連携による食育活動を継続する。また、次年度の拡大へ向け企画を進める。</p> <p>学校給食を通し児童生徒の健康増進対策を進めるため、生活習慣病対策への参画・協力と、養護教諭及び関係課係との情報共有・連携を強化する。</p> <p>食物アレルギーによる除去食対応や、医療的ケアを必要とする児童生徒に対する個別対応事例が増加し複雑化してきていることから、より安全性・確実性の強化徹底を図る。</p> <p>学校給食業務の安定的な運営体制のため、給食センター職員の確保と一部外部委託を進めていく。</p>

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	3,223,413	4,413,849	2,939,000
	一般財源	円	56,333,216	55,687,884	70,871,000
	事業費計	円	59,556,629	60,101,733	73,810,000
活動指標	年間給食日数	日	204	206	206

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
寄付金管理基金繰入金	円		2,722,000	
会計年度任用職員労働保険料個人負担金(給食センター管理費)	円	3,223,413	1,691,849	2,939,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 学校給食提供職員体制状況

【令和4年度】

①調理業務・食器食缶洗浄業務	
主任調理員	3人
調理員	12人
代替職員	4人
短時間調理員	2人
委託業者	3人工分(洗浄業務の一部)
②配食業務	
配食員	6人



【令和5年度】

①調理業務・食器食缶洗浄業務	
主任調理員	3人
調理員	10人
代替職員	4人
短時間調理員	2人
委託業者	5人工分(洗浄・下処理業務の一部)
②配食業務	
配食員	6人

- ・令和4年度より、調理業務責任者として主任調理員を新設。
- ・調理繁忙時間に特化した人員として短時間調理員を配置。
- ・人材確保の課題解決、また、福祉事業の新たな事業機会の創出、障がい者の自立支援効果を期待し、食器食缶洗浄業務の一部について、福祉事業所及びシニアワークセンターの委託による外部委託を実施。

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
9	教育費	1	5	給食センター管理費	210701	児童生徒食育推進事業

事務事業名	児童生徒食育推進事業
-------	------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業と地元産食材の魅力を伝え、食を支える人への感謝の気持ちと郷土愛を育むため、めむろまるごと給食を提供する。 ・食事のバランス、食文化等について理解を図り、健康で健全な食生活に関する知識をつけるため食に関する指導を行う。 ・児童生徒に地域の良さを理解させたり、愛着をもたせるため、食に関する知識や経験を有する人材を活用し食に関する指導を行う。
2. 対象(何を対象にしているか)	町内小中学校7校の児童生徒
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に、健康な食生活を実現しようとする。 ・食料の生産等に関わる人々に対して感謝する心を育む。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・農協や関係課に協力を依頼し、生産者から児童生徒に対し、食材や農業について伝えてもらう機会を設けている。 ・めむろまるごと給食の際には芽室産の食材を紹介した給食日より、食育動画を作成し、町内小中学校に配布している。 ・圃場体験や食農に関する授業をおこなっているが、児童生徒が主体的に学ぶことができるよう授業内容の見直しが必要である。 ・生活習慣病検査の結果を踏まえた食育活動を行う必要がある。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者等、食に関する知識や経験を有する人材を活用し引き続き食育を行っていく。 ・まるごと給食を児童生徒だけでなく、保護者にも広く知ってもらうためFacebook等を活用し周知を行う。 ・食農に関する授業では、児童生徒が知識や情報に基づき、自ら表現をする場面を設ける必要がある。 ・生活習慣病検査の結果を踏まえた食に関する指導や教職員への結果の周知を行う必要がある。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円		1,912,000	1,923,000
	一般財源	円		918,784	1,303,000
	事業費計	円		2,830,784	3,226,000
活動指標	めむろまるごと給食の提供回数	回		9	9
	食の指導の回数(全校放送を含む)	回		60	61

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
寄付金管理基金繰入金	円		1,870,000	1,851,000
学校給食試食代	円		18,800	40,000
学校給食センター職員給食代	円		23,200	32,000
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 「めむろまるごと給食」実施状況

実施月日	メニュー	食数
5月26日	肉なべどん、牛乳、アスパラとコーンのクリーミーサラダ	1,719食
6月9日	ハヤシライス、牛乳、ルバーブのゼリーあえ	1,719食
7月7日	中華丼、牛乳、わかめスープ	1,689食
9月8日	豚肉とコーンのスタミナライス、牛乳、野菜とじゃがいものスープ、キャベツと枝豆のサラダ	1,718食
10月6日	ホイコーローどん、牛乳、わかめスープ	1,698食
12月1日	麦入りごはん、牛乳、豆腐となめこのみそ汁、肉じゃが	1,713食
12月15日	肉そぼろ丼、牛乳、豆腐とごぼうのみそ汁、ゆりねのごまあえ	1,714食
2月2日	牛どん、牛乳、じゃがいものみ汁	1,714食
3月8日	ハッシュドビーフライス、いちごオレ、コーンクリーミーサラダ、クッキー	1,637食
	試食数	94食
	合計	15,415食

2 令和5年度まるごと給食食材費

区分	提供日数	購入金額	備考
副食	9日	2,764,451円	
合計		2,764,451円	

※給食材料購入事業支出分以外

3 「食の指導」実施数

食に関する指導	内容	指導者	芽小	西小	南小	上小	芽中	西中	上中
	食事の重要性、*1 栄養バランス、 心身の健康等	栄養教諭	13クラス 各1回	8クラス 各1回	4クラス 各1回	4学年 各1回	8クラス 各1回	4クラス 各1回	1クラス 1回
食農教育 栄養バランス(*2)	管理栄養士 農業士	7クラス 各1回	4クラス 2回	2クラス 各1回	2学年 1回	4クラス 各1回	2クラス 1回		

*1芽小配属栄養教諭については全給食時間に指導実施。

*2食農教育では芽室町の農業と学校給食について学び、地域の特性を生かした給食や食料自給率
考え、感謝の気持ちや食べ物を大切にする心を育む。

4 その他

管理栄養士による指導を実施
 芽室小学校6年生 4クラス
 芽室西小学校3年生 2クラス
 糖質についての個別授業 1回

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	2	1	小学校費
			1	学校管理費
			210110	小学校施設維持管理事業

事務事業名	小学校施設維持管理事業
-------	-------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 施設の修繕、保守点検、工事。必要備品の購入
2. 対象(何を対象にしているか) 学校施設
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 安全・教育に快適な施設を確保する。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 平成21年度の工事により、小学校の耐震化率が100%となった。平成23年度からは太陽光発電パネルの設置に取り組むとともに、児童の生活スタイルの変化からトイレ洋式化を行った。 各施設は老朽化が進んでいるため、令和元年度に学校施設等長寿命化計画を策定した。 多様な児童が学校で安全に日常生活を過ごせるような対策のほか、GIGAスクールやDX、ゼロカーボンなどを踏まえるとともに各校のニーズを捉えた改修計画を立案していく必要がある。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 令和6年度は、各校の給食配膳室に空調設備を設置、上小、南小に関しては、体育館照明の改修を行う。 芽室町立小中学校配置計画と関連して、児童・生徒数の減少に伴い、配置基準を満たさない学校が今後生じる可能性がある。各校とも大規模改修等を経ながらも老朽化は着実に進行しており、修繕が必要な箇所もあるが、長期的な視点に立った改修計画を立案していく。 また、教育を取り巻く環境の変化に合わせた施設改修に関しては、各校のニーズを踏まえた計画となるよう協議に向けた検討を進める。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円		15,899,000	
	地方債	円		31,300,000	
	その他(使用料等)	円	2,039,313	933,098	5,522,000
	一般財源	円	94,160,409	89,154,229	86,232,000
	事業費計	円	96,199,722	137,286,327	91,754,000
活動指標	修繕件数	件	69	72	70
	工事件数	件	2	3	4

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
太陽光買電収入(小学校管理費)	円	44,313	48,998	44,000
寄附金管理基金繰入金	円	1,995,000		
学校施設開放事業利用者負担金(小学校管理費)	円		26,100	72,000
森林環境譲与税基金繰入金	円		858,000	880,000
公共施設整備基金繰入金	円			4,526,000
小学校施設環境改善交付金-R4繰越	円		15,899,000	
小学校施設環境改善事業債-R4繰越	円		31,300,000	
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 学校環境の整備

・校下の特色ある環境づくりとスケートリンクの整備を進めるため、学校環境整備及びスケートリンク造成費報償と地域PTAの協力、公務補による環境美化整備を図った。

芽室小学校	336,000円
上美生小学校	126,210円
芽室西小学校	380,000円
芽室南小学校	380,000円
計	1,222,210円

2 学校施設の整備

芽室小	ボイラー改修事業-R4繰越	23,529,000円
上美生小	煙突断熱材石綿対策工事-R4繰越	26,862,000円
芽室南小	受変電設備改修工事	1,630,000円
計		52,021,000円

3 学校備品の整備

芽室小	卓上型裁断機
	インパクトドライバ
	掲示板
上美生小	吸音スクリーン
	空気清浄機
	エンジンプロア
芽室西小	医療用LED照明
	ワイヤレスマイク
	卓上型裁断機
芽室南小	高枝チェンソー
	エンジンプロア
	充電式クリーナー
	掃除機
	コードレス掃除機
	会議テーブル
	図工室椅子
折りたたみいす	
	電子ステープラー

計		1,834,930円
---	--	------------

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
芽室小学校ボイラー改修事業-R4繰越	23,529,000	7,919,000	15,500,000	0	110,000	池田煖房工業(株) R5.5.1~R5.10.6
上美生小学校煙突断熱材石綿対策工事-R4繰越	26,862,000	7,980,000	15,800,000	0	3,082,000	(株)北土開発 R5.6.26~R5.10.13
南小学校・上美生中学校受変電設備改修工事(南小分)	1,630,000	0	0	0	1,630,000	親栄電気工事(株) R5.10.10~R6.1.12
合計	52,021,000	15,899,000	31,300,000	0	4,822,000	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名	
9	教育費	2	1	210224	学校健康診断実施事業(小学校)

事務事業名	学校健康診断実施事業(小学校)
-------	-----------------

(1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>学校健診(内科検診、歯科検診、尿検査、心臓健診等)を実施する。 また、町単独の事業として生活習慣病検査(血液検査)を小学校4年生の児童を対象に実施する。 教職員の福利厚生充実のため、教職員を対象とした、健康診断も実施する。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>小学校の児童 小学校の教職員</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>身体の異常の早期発見と適切な指導を行う。</p>

(2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>学校保健安全法に基づき学校健診を行うことにより、児童の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校4年生を対象にした、生活習慣病検査は学校保健安全法に規定されている健診ではなく、町独自で実施している検査であり、将来への生活習慣病予防のきっかけづくりとなっている。 ・2021年度から会場を公立芽室病院に変更した。 ・2020年度と比較し、受診率は低下したが、所見がみられる児童に受診を勧奨したため、要指導・要治療率は増加しており、以前に比べ生活習慣病のリスクがある児童への早期発見・早期介入となっている。
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病検査について、小学校4年生の希望者に加え、新たに学校の2計測(身長・体重)から算出したローレル指数、BMI指数において所見が見られる児童も対象とする。 ・栄養教諭が実施する「食に関する指導」に生活習慣病予防の内容を小4以降に加える。 ・町の保健師や栄養士から、生活習慣病予防の知識啓発となる情報を学校に提供し、保健室掲示や、保護者向けの保健だよりに、生活習慣病予防に係る正しい知識の啓発を盛り込む。 ・上記の取組を2024年度においても継続することで、検査を受診しない児童やその保護者に対しても、生活習慣病予防について情報発信をし、町内児童の健康改善に繋げる。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円	7,938,848	7,356,672	8,529,000
	事業費計	円	7,938,848	7,356,672	8,529,000
活動指標	各種健康診断受診者延人数	人	3,172	3,051	3,033
	各種健康診断受診者数(教職員)	人	102	94	88

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 主な施策の成果

(1) 生活習慣病検査の実施 541,280 円

①検査会場

公立芽室病院を会場とし、保護者同伴のもとで血液検査を実施。

②受診対象者

小学4年生に加え、学校の2計測(身長・体重)から算出したローレル指数、BMI指数において所見が見られる児童

・他関係課との連携状況

検査結果を公立芽室病院の医師が判断し、要治療・要指導とされた児童とその保護者に対して、町の保健師・栄養士による個別相談を実施。

・受診率等

	小学4年生	小学有所見者	計
受診率	31.9 % (52 / 163)	11.6 % (8 / 69)	25.9 % (60 / 232)
要治療・要指導率	13.5 % (7 / 52)	37.5 % (3 / 8)	16.7 % (10 / 60)

(参考:令和4年度受診率等)

	小学4年生	小学有所見者	計
受診率	25.4 % (44 / 173)	42.9 % (12 / 28)	27.9 % (56 / 201)
要治療・要指導率	22.7 % (10 / 44)	83.3 % (10 / 12)	35.7 % (20 / 56)

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	210225	特別支援教育就学奨励事業(小学校)

事務事業名 特別支援教育就学奨励事業(小学校)

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・学校教育法、特別支援学校への就学奨励に関する法律に基づき、特別支援学級に通学する児童の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) ・特別支援学級に通学する児童の保護者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・保護者の経済的負担を軽減する。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・2018年度より、特別支援教育就学奨励費補助金(国庫補助)の助成単価のうち、新入学用品費等の金額が上がったことから、新入学用品費の支給額を増額して支給を行っている。 ・2022年度より、児童用タブレットを日常的な家庭学習のために持ち帰った際、各家庭でwifi環境を整備する必要があることから、オンライン学習通信費の支給を行っている。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・国庫補助要綱に基づき、適正に支給していく。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円	593,000	502,000	608,000
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円	594,433	501,567	610,000
	事業費計	円	1,187,433	1,003,567	1,218,000
活動指標	児童数	人	1,012	985	945

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
特別支援教育就学奨励費等国庫補助金	円	593,000	502,000	608,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 就学奨励費内訳

項目	人数	金額
学校給食費	24人	551,232円
修学旅行費	7人	75,530円
校外活動等参加費(宿泊を伴うもの)	4人	7,380円
学用品・通学用品費購入費	24人	139,680円
新入学児童学用品・通学用品子入費	4人	102,220円
体育実技用具費(スキー等)	5人	29,525円
オンライン学習通信費	14人	98,000円
計		1,003,567円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	210227	要・準要保護児童就学援助事業(小学校)

事務事業名 要・準要保護児童就学援助事業(小学校)

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・就学困難な児童の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の児童は修学旅行費が補助対象)
2. 対象(何を対象にしているか) ・就学困難と認められる児童の保護者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・就学困難な児童の保護者の経済的負担を軽減する

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・就学困難な児童の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の児童は修学旅行費のみ補助対象) ・2018年度新入学児童から、新入学用品費の入学前支給を実施した。(2月末支給) ・2019年度については、要保護児童生徒援助費補助金の新入学用品費の金額が上がったことから、新入学前支給の金額についても増額して支給を行った。 ・2019年度より、卒業アルバム費等の支給項目が追加されたことから、小学校6学年のアルバム注文者の児童世帯に卒業アルバム費の支給を行っている。 ・2022年度より、児童用タブレットを日常的な家庭学習のために持ち帰った際、各家庭でwifi環境を整備する必要があることから、オンライン学習通信費の支給を行っている。 ・援助が必要な世帯に援助ができるよう、周知に努める。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・法に基づき、適正に支給する。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円	26,000	16,000	
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円	9,856,956	9,060,176	9,937,000
	事業費計	円	9,882,956	9,076,176	9,937,000
活動指標	児童数	人	1,012	985	945

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
要保護児童生徒援助費国庫補助金	円	26,000	16,000	
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 就学援助費内訳

項目	支給人数	金額
学用品費	101人	1,119,372円
通学用品費等	101人	336,898円
新入学学用品費	5人	270,300円
P T A 会費	75人	258,825円
体育実技用具費	28人	330,680円
修学旅行費	15人	276,763円
給食費	100人	4,373,579円
卒業アルバム費	13人	134,650円
オンライン学習通信費	101人	1,347,449円
計		8,448,516円

2 就学援助認定率(年度末)

学校名	児童数	認定者数	認定率
芽室小学校	577人	69人	11.96%
上美生小学校	30人		
芽室西小学校	301人	31人	10.30%
芽室南小学校	77人		
町外小学校		1人	
計		101人	

3 新入学用品費入学前支給

学校名	支給人数	金額
芽室小学校	9人	513,540円
上美生小学校		
芽室西小学校	2人	114,120円
芽室南小学校		
計	11人	627,660円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	210239	教材・教具整備事業(小学校)

事務事業名	教材・教具整備事業(小学校)
-------	----------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・小学校4校の教育課程に係る備品、消耗品及び図書等の購入・整備を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) ・小学校4校の児童と教職員
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・授業の実施状況に合わせた教材・教具を整備することにより、効率的・効果的な授業の実施等、学校教育の充実を図る。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・町内小学校の授業等で必要な教材・教具及び学校図書の購入・維持管理。 ・2019年度より、校務用・教育用コンピューター等の計画更新を行っている。 ・2020年度より、ICT整備・活用指針に基づき、GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備を行っている。 【課題】 ・子どもの確かな学力と社会の変化に対応できる力の育成のため、各学校が個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導の充実を図る必要がある。 ・令和8年度に道教委による共同調達により、児童用タブレットの更新を予定しており、端末の仕様について、検討が必要である。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 【解決策】 ・芽室町教育委員会に「教育DX推進員」を継続配置し、町のICT教育の指針を充実させ、ICT教育の授業改善・推進を図ることで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指す。 ・令和8年度の児童用タブレットの更新に向け、学習やその他運用管理における教育現場側の意見抽出を行い、端末の仕様について、検討を進める。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円	588,000	1,050,000	700,000
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	2,247,000	12,821,000	4,642,000
	一般財源	円	29,567,254	28,807,785	29,046,000
	事業費計	円	32,402,254	42,678,785	34,388,000
活動指標	購入・整備額	円	32,402,254	42,678,785	34,388,000

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
寄附金管理基金繰入金	円	2,247,000	12,821,000	4,642,000
公立学校情報機器整備費補助金	円	588,000	1,050,000	700,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 主要な施策の成果

- (1) 情報教育推進のためのパソコン等設置 8,197,569 円
- ・令和3年度 更新導入
～北海道市町村備荒資金組合を利用し、令和7年度までの5年払い
小学校4校 プリンタ 33台 6,078,669 円
 - ・令和5年度 新規導入
芽室小学校、芽室西小学校 無線LAN最適化装置 各1台 2,118,900 円
- (2) 鍵盤ハーモニカ購入費助成金 259,200 円
小学1年生を対象に購入費の助成
1,800 円 × 128 人 = 230,400 円 … 全世帯対象分
1,800 円 × 16 人 = 28,800 円 … 要保護・準要保護世帯加算分

(3) 教材消耗品・備品の整備

項目	金額	購入物品
教育課程教材消耗品	1,721,610 円	タオル、気体検知管、ピーカーほか
教育課程教材備品	2,299,930 円	書画カメラ、デジタルカメラ、ミシンほか
吹奏楽楽器備品	841,702 円	トランペット、クラリネット、ユーフォonium
合計	4,863,242 円	

(4) 学校図書館の状況

学校名	R4年度末 冊数 A	購入・寄贈 B	廃棄 C	R5年度末 冊数 D=A+B-C	図書標準 達成率 D/E	図書標準 冊数 E
芽室小学校	14,061	557	11	14,607	122.1%	11,960
上美生小学校	5,673	57	81	5,649	123.9%	4,560
芽室西小学校	10,508	178	30	10,656	107.0%	9,960
芽室南小学校	8,341	98	12	8,427	139.5%	6,040
合計	38,583	890	134	39,339		

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210120	中学校施設維持管理事業

事務事業名	中学校施設維持管理事業
-------	-------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 施設の修繕、保守点検、工事。必要備品の購入
2. 対象(何を対象にしているか) 学校施設
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 安全・教育に快適な施設を確保する。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 平成18年度の工事により、中学校の耐震化率が100%となった。平成21年度からは太陽光発電パネルの設置に取り組み、生徒の生活スタイルの変化からトイレ洋式化を行った。 各施設は老朽化が進んでいるため、令和元年度に学校施設等長寿命化計画を策定した。 多様な生徒が学校で安全に日常生活を過ごせるような対策のほか、GIGAスクールやDX、ゼロカーボンなどを踏まえるとともに各校のニーズを捉えた改修計画を立案していく必要がある。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 令和6年度は、各校特別教室等に換気付き空調設備を設置、芽中煙突改修工事を実施する。 芽室町立小中学校配置計画と関連して、児童・生徒数の減少に伴い、配置基準を満たさない学校が今後生じる可能性がある。各校とも大規模改修等を経ながらも老朽化は着実に進行しており、修繕が必要な箇所もあるが、長期的な視点に立った改修計画を立案していく。 また、教育を取り巻く環境の変化に合わせた施設改修に関しては、各校のニーズを踏まえた計画となるよう協議に向けた検討を進める。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円	18,177,000	10,927,000	
	地方債	円	38,300,000	21,500,000	
	その他(使用料等)	円	7,588	151,220	10,152,000
	一般財源	円	68,387,136	68,490,170	64,351,000
	事業費計	円	124,871,724	101,068,390	74,503,000
活動指標	修繕件数	件	43	36	40
	工事件数	件	3	4	4

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
太陽光買電収入(中学校管理費)	円	1,288	920	
学校施設開放事業利用者負担金(中学校管理費)	円	6,300	150,300	170,000
公共施設整備基金繰入金	円			9,982,000
芽室西中学校学校施設環境改善交付金-R3繰越	円	18,177,000		
芽室西中学校内部校舎・体育館改修事業債-R3繰越	円	38,300,000		
中学校施設環境改善交付金-R4繰越	円		10,927,000	
中学校施設環境改善事業債-R4繰越	円		21,500,000	
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 学校環境の整備

・校下の特色ある環境づくりとスケートリンクの整備を進めるため、学校環境整備及びスケートリンク造成費報償と地域PTAの協力、公務補による環境美化整備を図った。

芽室中学校	360,000円
上美生中学校	200,000円
芽室西中学校	300,000円
計	860,000円

2 学校施設の整備

芽室中	煙突断熱材石綿対策工事-R4繰越	32,494,000円
芽室中	職員玄関電気錠設置工事	660,000円
芽室中	教室棚撤去工事	2,112,000円
上美生中	受変電設備改修工事	3,815,000円
計		39,081,000円

3 学校備品の整備

芽室中	チェンソー	
	担架	
	電波時計	
	書棚	
	充電式クリーナー	
上美生中	ディスクカッター	
	スチーム加湿器	
	乗用芝刈り機	
	折りたたみ椅子	
	スチールラック	
芽室西中	裁断機	
	電子ステープラー	
	充電式クリーナー	
	音楽室椅子	
	美術室椅子	
	加湿器	
	ラベルライター	
	ラミネーター	
計		1,968,420円

建設事業等の説明 (単位：円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
芽室中学校煙突断熱材石綿対策工事-R4繰越	32,494,000	10,927,000	21,500,000	0	67,000	鍵谷建設(株) R5.6.5~R5.10.6
芽室中学校職員玄関電気錠設置工事	660,000	0	0	0	660,000	文化シャッターサービス(株) R5.7.12~R5.8.31
芽室中学校教室棚撤去工事	2,112,000	0	0	0	2,112,000	(有) 犬飼建設 R5.7.18~R5.9.1
南小学校・上美生中学校受変電設備改修工事(上中分)	3,815,000	0	0	0	3,815,000	親栄電気工事(株) R5.10.10~R6.1.12
合計	39,081,000	10,927,000	21,500,000	0	6,654,000	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210226	特別支援教育就学奨励事業(中学校)

事務事業名 特別支援教育就学奨励事業(中学校)

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・学校教育法、特別支援学校への就学奨励に関する法律に基づき、特別支援学級に通学する生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) ・特別支援学級に通学する児童の保護者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・保護者の経済的負担を軽減する。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・2018年度より、特別支援教育就学奨励費補助金(国庫補助)の助成単価のうち、新入学用品費等の金額が上がったことから、新入学用品費の支給額を増額して支給している。 ・2022年度より、生徒用タブレットを日常的な家庭学習のために持ち帰った際、各家庭でwifi環境を整備する必要があることから、オンライン学習通信費の支給を行っている。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・国庫補助要綱に基づき、適正に支給していく。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円	260,000	560,000	571,000
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円	259,614	560,788	573,000
	事業費計	円	519,614	1,120,788	1,144,000
活動指標	生徒数	人	579	550	544

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
特別支援教育就学奨励費等国庫補助金	円	260,000	560,000	571,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 就学奨励費内訳

項目	人数	金額
学校給食費	16人	444,573円
修学旅行費	2人	57,720円
校外活動等参加費(宿泊を伴うもの)	2人	6,210円
学用品・通学用品費購入費	16人	181,920円
新入学児童学用品・通学用品子入費	9人	274,410円
体育実技用具費(スキー等)	11人	64,955円
オンライン学習通信費	13人	91,000円
計		1,120,788円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210228	要・準要保護児童就学援助事業(中学校)

事務事業名 要・準要保護生徒就学援助事業(中学校)

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・就学困難な生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の生徒は修学旅行費が補助対象)
2. 対象(何を対象にしているか) ・就学困難な生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の生徒は修学旅行費が補助対象)
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・就学困難な生徒の保護者の経済的負担を軽減する。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・就学困難な生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の生徒は修学旅行費が補助対象) ・2018年度新入学生徒から、新入学用品費の入学前支給を実施した。(2月末支給) ・2019年度については、要保護児童生徒援助費補助金の新入学用品費の金額が上がったことから、新入学前支給の金額についても増額して支給を行った。 ・2019年度より、卒業アルバム費等の支給項目が追加されたことから、中学校第3学年のアルバム注文者の生徒世帯に、卒業アルバム費の支給を行っている。 ・2022年度より、生徒用タブレットを日常的な家庭学習のために持ち帰った際、各家庭でwifi環境を整備する必要があることから、オンライン学習通信費の支給を行っている。 ・援助が必要な世帯に援助ができるよう、周知に努める。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・法に基づき、適正に支給する。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円	52,000		30,000
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円	11,740,399	9,437,928	11,906,000
	事業費計	円	11,792,399	9,437,928	11,936,000
活動指標	生徒数	人	579	550	544

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
要保護児童生徒援助費国庫補助金	円	52,000		30,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 就学援助費内訳

項目	支給人数	金額
学用品費	66人	1,477,440円
通学用品費等	66人	271,560円
新入学学用品費	人	
P T A 会費	62人	186,200円
生徒会費	66人	38,480円
部活動費	45人	655,220円
体育実技用具費	12人	141,720円
修学旅行費	28人	1,173,679円
給食費	66人	3,509,469円
卒業アルバム費	29人	255,200円
オンライン学習通信費	66人	909,960円
計		8,618,928円

2 就学援助認定率(年度末)

学校名	生徒数	認定者数	認定率
芽室中学校	381人	48人	12.60%
上美生中学校	22人	2人	9.09%
芽室西中学校	147人	16人	10.88%
町外中学校			
計		66人	

3 新入学用品費入学前支給

学校名	支給人数	金額
芽室中学校	10人	630,000円
上美生中学校		
芽室西中学校	3人	189,000円
計	13人	819,000円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210241	学校健康診断実施事業(中学校)

事務事業名	学校健康診断実施事業(中学校)
-------	-----------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校健診(内科検診、歯科検診、尿検査、心臓健診等)を実施する。また、町単独の事業として生活習慣病検査(血液検査)を中学校1年生の生徒を対象に実施する。 ・教職員の福利厚生充実のため、教職員を対象とした、健康診断も実施する。
2. 対象(何を対象にしているか)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の生徒 ・中学校の教職員
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の異常の早期発見と適切な指導を行う。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題	<p>学校保健安全法に基づき学校健診を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校1年生を対象にした、生活習慣病検査は学校保健安全法に規定されている健診ではなく、町独自で実施している検査であり、将来への生活習慣病予防のきっかけづくりとなっている。 ・2021年度から会場を公立芽室病院に変更した。 ・2020年度と比較し、受診率は低下したが、所見がみられる生徒に受診を勧奨したため、要指導・要治療率は増加しており、以前に比べ生活習慣病のリスクがある生徒への早期発見・早期介入となっている。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病検査について、中学校1年生の希望者に加え、新たに学校の2計測(身長・体重)から算出したローレル指数、BMI指数において所見が見られる生徒も対象とする。 ・栄養教諭が実施する「食に関する指導」に生活習慣病予防の内容を中1以降に加える。 ・町の保健師や栄養士から、生活習慣病予防の知識啓発となる情報を学校に提供し、保健室掲示や、保護者向けの保健だよりに、生活習慣病予防に係る正しい知識の啓発を盛り込む。 ・上記の取組を2024年度においても継続することで、検査を受診しない生徒やその保護者に対しても、生活習慣病予防について情報発信をし、町内生徒の健康改善に繋げる。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円	5,238,724	5,371,746	6,261,000
	事業費計	円	5,238,724	5,371,746	6,261,000
活動指標	各種健康診断受診者延人数	人	1,883	1,771	1,933
	各種健康診断受診者数(教職員)	人	64	66	60

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 主な施策の成果

(1) 生活習慣病検査の実施 631,720 円

①検査会場

公立芽室病院を会場とし、保護者同伴のもとで血液検査を実施。

②受診対象者

中学1年生に加え、学校の2計測(身長・体重)から算出したローレル指数、BMI指数において所見が見られる児童

・他関係課との連携状況

検査結果を公立芽室病院の医師が判断し、要治療・要指導とされた児童とその保護者に対して、町の保健師・栄養士による個別相談を実施。

・受診率等

	中学1年生	中学有所見者	計
受診率	37.1 % (66 / 178)	12.5 % (4 / 32)	33.3 % (70 / 210)
要治療・要指導率	16.7 % (11 / 66)	50.0 % (2 / 4)	18.6 % (13 / 70)

(参考:令和4年度受診率等)

	中学1年生	中学有所見者	計
受診率	33.1 % (58 / 175)	25.7 % (9 / 35)	31.9 % (67 / 210)
要治療・要指導率	13.8 % (8 / 58)	22.2 % (2 / 9)	14.9 % (10 / 67)

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210242	教材・教具整備事業(中学校)

事務事業名	教材・教具整備事業(中学校)
-------	----------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・中学校3校の教育課程に係る備品、消耗品及び図書等の購入・整備を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) ・中学校3校の生徒と教職員
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・授業の実施状況に合わせた教材・教具を整備することにより、効率的な授業の実施等、学校教育の充実を図る。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・町内中学校の授業等で必要な教材・教具及び学校図書の購入・維持管理。 ・2019年度より、校務用・教育用コンピューター等の計画更新を行っている。 ・2020年度より、ICT整備・活用指針に基づき、GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備を行っている。 【課題】 ・子どもの確かな学力と社会の変化に対応できる力の育成のため、各学校が個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導の充実を図る必要がある。 ・令和7年度に道教委による共同調達により、生徒用タブレットの更新を予定しており、端末の仕様について、検討が必要である。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 【解決策】 ・芽室町教育委員会に「教育DX推進員」を継続配置し、町のICT教育の指針を充実させ、ICT教育の授業改善・推進を図ることで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指す。 ・令和7年度の生徒用タブレットの更新に向け、学習やその他運用管理における教育現場側の意見抽出を行い、端末の仕様について、検討を進める。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円	441,000	787,000	525,000
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	1,000,000	15,590,000	6,355,000
	一般財源	円	31,587,217	20,232,605	21,938,000
	事業費計	円	33,028,217	36,609,605	28,818,000
活動指標	購入・整備額	円	33,028,217	36,609,605	28,818,000

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
寄附金管理基金繰入金	円	1,000,000	15,590,000	6,355,000
公立学校情報機器整備費補助金	円	441,000	787,000	525,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 主要な施策の成果

(1) 情報教育推進のためのパソコン等設置 16,999,467 円

- ・令和元年度 更新導入
 ～北海道市町村備荒資金組合を利用し、令和5年度までの5年払い 6,538,900 円
 芽室西中学校 パソコン 70台 プリンタ 10台
- ・令和2年度 更新導入
 ～北海道市町村備荒資金組合を利用し、令和6年度までの5年払い 8,428,724 円
 芽室中学校 パソコン 82台 プリンタ 12台
- ・令和4年度 更新導入
 ～北海道市町村備荒資金組合を利用し、令和8年度までの5年払い 1,257,019 円
 上美生中学校 プリンタ 2台
 芽室西中学校 アクセスポイント 1台
- ・令和5年度 新規導入
 芽室中学校 無線LAN最適化装置 1台 774,100 円
- ・令和5年度 更新導入
 ～北海道市町村備荒資金組合を利用し、令和6年度までの5年払い 724 円
 上美生中学校 プリンタ 4台

(2) 教材消耗品・備品の整備

項目	金額	購入物品
教育課程教材消耗品	1,406,497 円	フラットファイル、鉛筆、マグネットシートほか
教育課程教材備品	1,811,480 円	プロジェクター、デジタルカメラ、体操マットほか
吹奏楽備品	1,008,298 円	ティンパニ (Lサイズ1台、Mサイズ1台)
合計	4,226,275 円	

(3) 学校図書館の状況

学校名	R4年度末 冊数 A	購入・寄贈 B	廃棄 C	R5年度末 冊数 D=A+B-C	図書標準 達成率 D/E	図書標準 冊数 E
芽室中学校	15,621	133	1,808	13,946	106.3%	13,120
上美生中学校	6,847	147	26	6,968	94.7%	7,360
芽室西中学校	10,831	234	421	10,644	117.7%	9,040
合計	33,299	514	2,255	31,558		

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	4	社会教育費	1	社会教育総務費	220103	少年教育活動運営事業

事務事業名	少年教育活動運営事業
-------	------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 少年少女国内研修事業(友好都市訪問事業)、西部十勝野外活動体験研修事業「クマゲラの村キッズキャンプ」、ジュニアリーダーコース道東派遣、フレンドリーコンサート、子どもわんぱくキャンプ、MEMO太鼓保存会子どもの部活動報償、寺子屋めむろ夏・冬、ジモト大学
2. 対象(何を対象にしているか) 芽室町内在住の児童・生徒
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 異なる年齢や地域間の交流を通じてリーダーを育成する。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 様々な体験活動をととして、子どもたちの豊かで健やかな心を育む。集団生活をととして形成される協調性や自然体験の中での経験が、子どもたちの発達段階ごとの成長に影響を持つと考えられることから、その重要性が求められる。 少年期に地域での豊かな体験活動の機会を持つことにより、郷土愛の醸成を図る。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ジモト大学については、以下3点を目標とする。 ・地域の強みを活かす教育プログラムとしての質の向上 →地域おこし協力隊制度による専門的人財を活用 ・参加生徒層の拡大 →学校(授業/部活動等)との連携 ・小中学校⇄高校、地域⇄高校の連携体制の構築 →中高生以下世代との連携機会の創出 各種事業継続の中で、形骸化・マンネリ化しないよう、事業内容の向上に努める。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	725,230	736,460	1,181,000
	一般財源	円	2,064,143	3,283,515	7,011,000
	事業費計	円	2,789,373	4,019,975	8,192,000
活動指標	事業数	回	10	10	10

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
社会教育受講料・個人負担金	円	425,230	456,460	617,000
会計年度任用職員労働保険個人負担金(社会教育総務費)	円			264,000
地域づくりセミナー開催支援金	円	300,000	280,000	300,000
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

- 1 少年少女国内研修 1,635,190円／参加者負担金 421,260円(30,090円/人)
 (1)派遣:7月25日～28日 3泊4日 参加者:小学5・6年生14人
 岐阜県揖斐川町ほか
 (2)揖斐川町研修生の受入:8月18日～22日 4泊5日 受入人数:12人
 町内で農業体験、まちなか歩きほか
- 2 寺子屋めむろ 29,300円
 小・中学生の長期休業中の地域体験学習事業
 (1)夏:ゲートボール・ドローン体験 8月2日(水) 10:00～12:00 参加者:15人
 (2)冬:ふるさと芽室を知ろう・書道体験 12月25日(月) 10:00～11:30 参加者:9人
- 3 わんぱくキャンプ 166,675円／参加者負担金 20,700円(900円/人)
 小学生の集団宿泊体験事業、ジュニアリーダーの育成
 日時:8月8～9日(1泊2日) 参加者:小学3～4年生16人、小学5～6年生6人
 場所:植村直己・帯広野外学校
- 4 フレンドリーコンサート 169,544円
 吹奏楽の発表、鑑賞及び演奏者の交流機会の提供
 日時:1月27日(土) 13:00～15:20 場所:芽室町中央公民館
 出演者:町内小・中・高校6校吹奏楽部員115人 入場者数:627人
- 5 西部十勝野外活動体験研修事業 170,206円／参加者負担金 14,500円(小学生1,500円/人、中学生2,500円)
 異年齢、他市町村との合同集団宿泊体験事業、ジュニアリーダーの育成
 (1)事前研修 3月16日～17日(1泊2日)
 (2)本研修 3月23日～24日(1泊2日)
 参加者:22人(うち芽室町7人) 場所:清水町農業研修会館、日高青少年自然の家
- 6 芽室ジモト大学 1,118,856円
 (1)芽室ジモト大学キックオフフォーラム(4月29日)
 ・テーマ:オール芽室で創る学びの場「地域×探究」 講師:立正大学 浦崎太郎氏
 ・場所:白樺学園高等学校 参加者:62人
 (2)モコロ合宿企画(10月13日～10月14日)
 場所:ゲストハウス&バー モコロ 参加者:6人
 (3)芽室ジモト大学ファットバイク企画(2月18日)
 場所:高野農場 参加者:20人
 (4)芽室ジモト大学フォーラム
 ・テーマ:人が育つ地域づくり 講師:(株)Edo 関口祐太氏
 ・講演 1月12日 場所:めむろ一どセミナーホール 参加者:25人
 ・ワークショップ 1月13日 場所:めむろ一どセミナーホール 参加者:11人
 (5)ONE PACK CORN PARK ボランティア活動(8月3日～8月7日)
 場所:芽室公園 ボランティア参加者:中高生延べ231人
 (6)伴走型事業 クリスマスイベント「めむクリ」(12月17日)
 場所:芽室駅前 実行委員:12人 当日ボランティア15人
- 7 メムオロ太鼓保存会 10,000円
 郷土芸能メムオロ太鼓保存会の活動を支援
 少年の部会員数:4人
- 8 芽室町・奈井江町児童生徒交流事業
 令和5年度は標語交流を休止し、小中高生によるオンライン交流を実施。

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	4	社会教育費	1	社会教育総務費	220702	コミュニティ・スクール運営事業

事務事業名	コミュニティ・スクール運営事業
-------	-----------------

(1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>地域学校協働活動(学校支援ボランティア、地域学校協働活動本部会議)、学校運営協議会へのCSコーディネーターの参加。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>町民</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>保護者や地域住民等が児童生徒や教育活動に積極的に参画してほしい。</p>

(2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校管理職とボランティア活動の在り方について、PTA活動等とのすみ分けを確認する。 ・学校支援ボランティアによる、地域と学校との関係づくりを推進。 ・細かな配慮が必要な授業(裁縫等)への支援。 ・学校運営協議会を核とした活動に、地域ボランティアの参加促進。
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動一覧を用いて、学校管理職と協議を行い、地学協働に相応しい活動を模索する。 ・CSコーディネーターが担当区の学校運営協議会の委員となり、学校課題の把握、支援に向けボランティアへのスムーズな調整、コーディネーターの活動の周知などを行う。 ・町民、PTA、柏樹学園などへの広報活動とボランティア登録の呼びかけを行い、SNS等を活用して活動の様子を発信していく。 ・外部講師の活用による新たな総合的な学習の展開。 ・給食試食を通じた、学校支援ボランティアと生徒・児童との活発な交流。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円	484,000	710,000	1,826,000
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	647,179	822,766	590,000
	一般財源	円	7,034,472	6,250,670	6,281,000
	事業費計	円	8,165,651	7,783,436	8,697,000
活動指標	ボランティア実施回数	回	104	120	120

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
地域学校協働活動推進事業道補助金	円	484,000	710,000	1,826,000
会計年度任用職員労働保険個人負担金(社会教育総務費)	円	647,179	822,766	590,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 地域学校協働活動(コミュニティ・スクール)

(1)地域学校協働本部会議開催 (第1回:6月7日、第2回:11月8日、第3回:2月26日)

(2)学校支援ボランティア活動回数

(3)地域学習等講師派遣回数

	活動回数	活動人数	活動時間
芽室小学校	50回	162人	207.75h
上美生小学校	26回	70人	29.00h
芽室西小学校	14回	46人	45.50h
芽室南小学校	14回	20人	23.50h
芽室中学校			
上美生中学校			
芽室西中学校	5回	7人	4.50h
その他	11回	47人	36.25h
合計	120回	352人	346.50h

	活動回数	活動人数	活動時間
芽室小学校	8回	5人	19.50h
上美生小学校	7回	3人	9.50h
芽室西小学校			
芽室南小学校	2回	2人	2.00h
芽室中学校	19回	19人	26.50h
上美生中学校	9回	6人	8.00h
芽室西中学校			
その他			
合計	45回	35人	65.50h

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	4	社会教育費	2	公民館費	220202	公民館施設維持管理事業

事務事業名 公民館施設維持管理事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 住民の様々な生涯学習の活動や発表の場の提供のため、施設の維持管理を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町民の生涯学習に対する要望に応えるべく、施設を維持管理する。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 町民の様々な生涯学習の活動や発表の場を提供するため、適切な施設の維持管理を行う。昭和56年の開館から40年以上が経過し、施設自体徐々に経年劣化が進行していることから、指定管理者と密に連絡を図りながら計画的に修繕等を行っていく。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・中長期的な視点に立ち、計画的な施設修繕等を行い、施設の適正な管理を行う。 ・令和7年度からの次期5年間の指定管理者選定に向け、令和6年度上期のうちに、施設管理に関する仕様書及び指定管理に係る経費を計画的に策定し、遺漏なく管理業務の担い手の選定を行う。 ・令和6年度に施工する空調設備工事は、施設の利用を継続しながら部分的に工事を進めるため、施設利用者に対する配慮と円滑な工事進行の両立を図る必要があることから、施工業者が決定し、工事計画が具体化した段階で施設の利用調整を行う。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			41,200,000
	その他(使用料等)	円	3,636,787	22,135,849	4,282,000
	一般財源	円	44,703,619	43,548,647	44,192,000
	事業費計	円	48,340,406	65,684,496	89,674,000
活動指標	開館日	日	353	353	353

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
公民館使用料	円	3,062,598	2,566,673	2,683,000
公民館自動販売機等使用料	円	86,019	93,736	89,000
公民館講座受講料	円	488,000	775,000	420,000
私用電話料(公民館費)	円	170	440	1,000
公共施設整備基金繰入金	円		18,700,000	1,089,000
中央公民館空調設備設置工事業債	円			41,200,000

事務事業の成果に関する説明

1 芽室町中央公民館の維持管理及び運営

(1) 指定管理の状況

- ① 5か年(令和2年4月1日～令和7年3月31日)の基本協定書に基づき、管理業務を委託
- ② 令和5年度指定管理者年度協定書の締結(年額委託料45,954,000円)

(2) 指定管理事業者による中央公民館の運営

- ① 受付、警備業務
- ② 日常清掃及び特別清掃業務
- ③ エレベーター保守点検、電気保守点検、ボイラー保守点検、大ホール舞台吊物設備保守点検等の実施

(3) 指定管理事業者による中央公民館の運営

① 公民館講座の開設

成人向け講座・・・企画30講座 実施講座29講座、中止講座1講座(申込少数により中止)

(実参加者数371人 延べ参加者数1,599人)

写謔(しゃうたい)、楽々リンパケア、リラックスヨガ、ピラティス講座他

児童・生徒向け・・・企画7講座 実施講座数7講座

(実参加者数112人 延べ参加者数130人)

バルシューレ、サンキャッチャー作り、コリントゲーム作り、シナプソロジー講座他

② その他の事業

- ・管内他施設で実施されるコンサートのチケット販売(取扱数:21事業)
- ・利用者アンケートの実施
- ・指定管理者自主事業(人形劇「ルドルフとイッパイアッテナ」、「MEMOタウンコンサート～帯広交響楽団」
「サウンド・ハーベスト・ジャズ・オーケストラ～1stコンサートwithジャズフレンド」
北海道文化財団こどもアート事業「ダンスワークショップ」)

(4) 利用状況

区分	利用延件数	利用延人数	利用日数
展示ホール	208	9,794	203
大ホール	158	13,411	148
リハーサル室	632	6,239	325
講堂	375	12,350	254
研修室	371	4,760	258
図書資料室	421	5,035	288
会議室1	212	968	170
会議室2	148	1,167	132
美術工芸室	332	2,010	252
三階和室	120	689	107
視聴覚室	201	2,552	179
調理実習室	79	613	76
合計	3,257	59,588	

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用延件数	3,040	3,011	2,491	2,372	3,208	3,257
利用延人数	77,037	75,786	40,483	48,162	62,434	59,588

(5) その他(主な指定管理外経費)

修繕費

- ・非常用照明器具交換修繕 99,000円
- ・防火シャッター非常用バッテリー交換修繕 99,000円
- ・通信機器収納ボックス取替修繕 132,550円

工事請負費

- ・大ホール舞台吊物装置更新工事 18,700,000円

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
大ホール舞台吊物 装置更新工事 ワイヤーロープ交換 マニラロープ交換 制御盤内機器更新	18,700,000			18,700,000		三精テクノロジーズ (株)札幌営業所 R5.4.14~R6.3.27
合計	18,700,000			18,700,000		

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
9	教育費	4	3	図書館費	220301	図書館維持管理事業

事務事業名 図書館維持管理事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 施設、建物、敷地内の維持管理 各種統計業務
2. 対象(何を対象にしているか) 建物、敷地内施設、図書館利用者、町民
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 利用環境の快適さ及び利用者数を増やす

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 多くの人が行きかう市街地中心部の公共施設としてさまざまな役割を果たしている。図書館本来の機能の他に喫茶コーナー、個人・団体ボランティアの活動場所、親子や家族のレクリエーション、学習や調査、イベントや町外からの来訪など多様な機能を持つ。窃盗事件、迷惑行為等が発生していることから、来館者、職員等の安心安全に向けた取組を強化しなければならない。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 快適安全な利用環境を維持するほか、来場者、職員の安心安全の為、防犯対策にも鋭意取り組んでいく。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	19,124	1,031,277	98,000
	一般財源	円	18,794,928	16,295,732	15,791,000
	事業費計	円	18,814,052	17,327,009	15,889,000
活動指標	図書館維持管理費	円	18,814,052	17,327,009	15,889,000
	図書館と敷地内施設	施設数	2	2	2

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
図書館喫茶コーナー使用料	円	9,474	10,073	90,000
図書館資料複写料	円	8,950	9,000	7,000
私用電話料(図書館)	円	700	510	1,000
デジタル田園都市国家構想交付金(図書館費)	円		686,094	
森林環境譲与税基金繰入金	円		325,600	
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

■令和5年度利用者数

資料貸出者数 31,218人(前年度 31,200人)

行事利用者数 9,530人(前年度 6,727人)

合計 40,748人(前年度 37,927人)

■令和5年度工事請負費

●Wi-Fi増設工事

実施日 令和5年7月7日

工事概要 Wi-Fi機器増設(視聴覚室)

建設事業等の説明						(単位：円)
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
Wi-Fi増設工事	20,350	10,175			10,175	東日本電信電話(株) R5.7.7
合計	20,350	10,175			10,175	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	4	社会教育費	3	図書館費	220302	図書・視聴覚資料の貸出・保存事業

事務事業名	図書・視聴覚資料の貸出・保存事業
-------	------------------

(1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>利用者への資料提供(閲覧・貸出) 資料の取得・管理・保存 延滞者への返却督促 蔵書点検</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>図書館利用登録者、資料、町民</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>適切に資料を管理し、利用者へ提供する</p>

(2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>昨年度電子図書を導入し、従来の資料とあわせ複合的に読書機会が増えて町民の読書環境が向上している。あたらしい資料の利用のための啓発を継続・拡大して利用充実を図っていく。</p>
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <p>電子図書利用に関する各種事業の開催や学校連携、地域資料や学習資料のデジタル化をはかり学校現場を含めた多くの場所で電子図書、従来の紙の資料の活用を促進していく。</p>

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	7,689,325	11,724,928	2,282,000
	一般財源	円	2,771,524	11,475,174	8,698,000
	事業費計	円	10,460,849	23,200,102	10,980,000
活動指標	開館日数	日	292	292	291

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
寄附金管理基金繰入金	円	7,683,000	4,822,000	2,281,000
図書館資料紛失等弁償金	円	6,325	1,870	1,000
企業版ふるさと納税	円		1,000,000	
デジタル田園都市国家構想交付金(図書館費)	円		5,901,058	
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

- 1 図書購入費 7,195,247円
 - (1) 一般書 2,940冊(前年度3,033冊)
 - (2) 児童書 1,363冊(前年度1,508冊)
 - 計 4,303冊(前年度4,541冊)
- 2 視聴覚資料購入費 842,754円
 - (1) DVD等 50点(前年度69点)
- 3 図書資料費 1,056,932円
 - (1) 雑誌 61誌 750冊(前年度762冊)
 - (2) 新聞 9紙
- 4 利用登録者数 16,043人(前年度15,594人) ※ 団体登録、相互貸借図書館を含む。
- 5 電子図書 12,213,904円
 - (1) 整備コンテンツ数 4,016点、朝読セット等10組
 - (2) 利用点数 5,207点

6 図書館貸出利用者数内訳

区分	図書館資料の利用者数								事業	合計	
	幼児	小学生	中学生	一般				団体			小計
	0~5	6~12	13~15	16~22	23~39	40~59	60~				
R4	1,076	3,005	374	496	4,656	9,131	12,077	385	31,200	6,727	37,927
R5	899	2,551	455	646	4,055	9,542	12,727	343	31,218	9,530	40,748

7 図書・雑誌資料別貸出状況

区分	貸出冊数	
	令和4年度	令和5年度
一般書	71,025	70,850
児童書	57,027	53,492
雑誌	10,223	9,843
合計	138,275	134,185

8 視聴覚資料貸出・館内視聴状況

区分	令和4年度	令和4年度 館外(再掲)	令和5年度	令和5年度 館外(再掲)
カセット	12	12	2	2
CD	958	944	952	933
ビデオ	188	28	262	47
LD	174		179	
DVD	2,876	2,531	3,268	2,894
合計	4,208	3,515	4,663	3,876

9 蔵書点検の実施

- (1) 実施期間 令和5年6月6日~6月11日
- (2) 点検資料数 122,171点
- (3) 不明資料数 30点

10 未返却などの督促

- (1) 対象者数 26人
- (2) 対象冊数 84冊

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
9	教育費	4	5	ふるさと歴史館費	220111	ふるさと歴史館運営事業

事務事業名 ふるさと歴史館運営事業

(1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>体験指導員1名の報酬、各種事業の開催(月別体験学習、歴史館講座、ねんりんフェスティバル、団体体験学習の受け入れ及び指導)、収蔵資料の現状調査、各種事業の周知及び送迎バスの運行、帯広百年記念館運営協議会への参画</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>施設来館者(町内、町外在住者)、各種主催事業参加者</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>郷土学習、体験学習の場を提供し、郷土の歴史について理解を深める機会を提供する</p>

(2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>体験型の郷土資料館としての特性を活かし、来館者にもものづくり体験等の場を提供するとともに、郷土の歴史や文化に対する理解を深めることを目的とした講座、展示等の事業を実施する。事業のマンネリ化が課題となっており、ものづくり体験に関しては歴史館らしさを意識したメニュー作りを行うとともに、歴史館講座や特別展示など郷土資料館としての役割である町民に対する普及活動の充実を図っていく必要がある。</p>
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <p>地域の歴史・文化を後世に継承していくことを目的に、郷土資料の収集保管や展示、調査研究を行い、その成果を町民に還元することを目的とした各種講座や特別展示などを開催するなど事業の充実を図っていく。</p>

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	394,981	412,805	266,000
	一般財源	円	3,543,364	3,263,872	3,340,000
	事業費計	円	3,938,345	3,676,677	3,606,000
活動指標	各種事業実施回数	回	16	17	17

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
会計年度任用職員労働保険料個人負担金(ふるさと歴史館)	円	394,981	412,805	266,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

①施設利用状況

	入館者数			団体体験学習	
	町内	町外	全体	団体数	利用者数
R1	1,639	1,940	3,579	47	844
R2	810	886	1,696	28	434
R3	960	976	1,936	28	837
R4	907	879	1,786	26	446
R5	1,422	1,289	2,711	44	875

※団体体験学習(R5)は、12種類の工作メニューから選択
 (ストローコマ、マカロンのキーホルダー、スライム、つりゲーム、フィンガーブーメラン、紙とんぼ
 お菓子のキャンドル、フォトフレーム、小枝のかけらのキーホルダー、ロケットとばしゲーム、浮沈子
 ペットボトルのけん玉)

②主催事業

- ・ねんりんフェスティバル 10月15日 63名参加
- ・帯広百年記念館移動展「晩成社展」 12月1日～12月11日 54名(期間中入館者)
- ・冬の特別体験学習「小豆の豆選り体験」 12月14日～12月28日 17名参加
- ・特別展示「芽室大火－60年前の記憶－」 3月14日～4月14日 574名(期間中入館者)

・月替わり体験学習 ※毎月第2・4土・日曜日実施

4月／イースターの壁飾り	2名
5月／しおり	12名
6月／アイヌ模様のコースター	49名
7月／らっかさん	5名
8月／ペーパーヨーヨー	16名
9月／松ぼっくりのけん玉	4名
10月／ハロウインのポップアップカード	23名
11月／クリスマスツリーのオーナメント	18名
12月／ぐにゃぐにゃダコ	8名
1月／ラップ芯のコマ	4名
2月／糸かけアート	19名
3月／割りばし鉄砲	39名
年間利用者数	199名

- ・出張体験学習 4団体 337名

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名	
9	教育費	5 保健体育費	1 保健体育総務費	220433	スポーツ人材強化・育成事業

事務事業名 スポーツ人材強化・育成支援事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 町内で活動する各種スポーツ団体(少年団、各種競技団体)の構成員並びに指導者に対する適正な指導や研修会等への参加機会を設け、スポーツ活動に関わる人材の育成と町民が参加可能なスポーツ活動の充実を図る。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民及び各種スポーツ活動団体の構成員
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) スポーツ活動に携わる人材(競技者、指導者)の育成とそれに係る支援を行い、町のスポーツ活動の充実を図る。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 道内で活動する競技団体との連携を構築し、それぞれが有する特色を生かしたスポーツや健康などをテーマとする事業を実施する。また、部活動の地域移行に向け現状把握と課題を抽出し、芽室町部活動地域移行推進協議会を設立のもと、地域等への説明会を実施する。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 町長公約である「一流を見て、聴いて、学ぶ」実現のためのソフト事業を展開する。各種スポーツに親しむ機会、技術や心構えの習得機会、指導者のための研修会などスポーツしやすい環境を継続していくため、今後も事業を推進していく。 また、部活動の地域移行に向け現状把握と課題を抽出し、協議会の設立、地域等への説明を実施するほか、本格的な実施に向け、実施主体の模索や地域移行事業の試行へと繋げる。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円	700,000		258,000
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	337,267	237,037	250,000
	一般財源	円	5,500,257	5,665,585	5,702,000
	事業費計	円	6,537,524	5,902,622	6,210,000
活動指標	研修会、各種教室の実施回数	回	4	8	8
	研修会、各種教室への延べ参加者数	人	137	807	807

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
会計年度任用職員労働保険個人負担金(保健体育総務費)	円	308,567	237,037	250,000
スポーツ人材強化・育成事業道補助金	円	700,000		
スポーツ人材強化・育成事業個人負担金	円	28,700		
地域スポーツクラブ活動体制整備事業国庫補助金	円			129,000
地域スポーツクラブ活動体制整備事業道補助金	円			129,000
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 「一流を見て、聴いて、学ぶ」事業

- (1) 北海道十勝スカイアーススポーツとの連携事業
- ・めむろサンクスマッチ(令和5年6月4日)
参加者数 350名
 - ・雪中スポーツ祭(令和6年2月23日)
参加者数 49名
- (2) 北海道日本ハムファイターズとの連携事業
- ・北海道日本ハムファイターズ応援バスツアー(令和5年9月18日)
参加者数 43名
- (3) 北海道コンサドーレ札幌との連携事業
- ・北海道コンサドーレ札幌応援バスツアー(令和6年3月16日)
参加者数 38名
- (4) 北海道出身オリンピックとの連携事業
- ・佐藤 久佳氏 鈴木 靖氏 トークイベント(令和5年7月1日)
参加者数 35名
 - ・佐藤 久佳氏 水泳教室(令和5年7月1日)
参加者数 80名
 - ・高平 慎士氏 陸上教室(令和6年1月20日)
参加者数 73名
- (5) 杉谷 拳士氏 野球教室及び講演会
- ・野球教室(令和6年3月8日)
参加者数 38名
 - ・講演会(令和6年3月9日)
参加者数 500名

2 白樺学園高等学校 野球教室及びサッカー教室

白樺学園高等学校アスリートコースの3年生による野球及びサッカー教室

- (1) 野球教室(令和6年1月27日)
参加者数 42名
- (2) サッカー教室(令和6年2月17日)
参加者数 25名

3 地域おこし協力隊の活動

任 期 令和4年4月1日～令和6年1月31日

業務内容 町内スポーツ競技団体の指導者発掘やスポーツ活動への指導助言、町民の健康づくりに関する取組みなど、スポーツを通じた魅力あるまちづくり実現に向けた活動を担う。

- (1) スポーツ少年団、子どもセンター等の指導協力
少年団や子どもセンター等が実施するサッカー教室や町内の運動教室等の講師としての派遣協力 67回派遣。
- (2) スポーツ競技団体との連絡・協議
スポーツ関連事業の企画・実施に向け、北海道十勝スカイアース株式会社等との協議。

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	5 保健体育費	2 20424	屋外体育施設維持管理事業

事務事業名 屋外体育施設維持管理事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 芽室公園野球場、芽室公園運動広場(ソフトボール場1面特設)、芽室町南多目的運動広場、アーチェリー場、芽室南公園運動広場、芽室公園庭球場(3面うち1面は壁打ち用)、芽室南公園庭球場(ハード3面、クレイ3面)、東工業団地北1公園PG場、芽室南PG場、芽室町サッカー場1面、芽室西運動広場の維持管理を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民、スポーツ団体等
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町民及び各種スポーツ団体のメンバー等がスポーツ活動を実践することができる。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 町民の運動志向の高まりとともに、取り組むスポーツも多様化し、より快適で安全な体育施設の設置、維持管理、整備が望まれている。平成28年度は、台風被害を受けた美生川河川敷PG場の災害復旧工事、また、平成30年度は芽室公園野球場の大規模改修工事、さらには、令和5年度に芽室公園テニスコートの改修工事を行うなど、施設整備事業を実施している。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 令和5年7月から供用を開始した芽室町営水泳プール周辺の施設を含めた屋外体育施設全体(旧温水プール跡地含む)の整備に向けて、施設の現状把握と分析、競技団体との意見交換、財源確保に向けた調査を実施する。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円		15,400,000	
	その他(使用料等)	円	692,290	1,793,000	419,000
	一般財源	円	39,487,204	42,653,487	44,664,000
	事業費計	円	40,179,494	59,846,487	45,083,000
活動指標	施設数	施設数	11	11	11
	会場日数	日	192	191	191

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
野球場使用料	円	164,070		
運動広場使用料	円	191,750		
庭球場使用料	円	79,800		
アーチェリー場使用料	円	8,670		
サッカー場使用料	円	10,000		
寄附金管理基金繰入金	円	238,000		419,000
公共施設整備基金繰入金	円		1,793,000	
芽室公園テニス場改修工事業債	円		15,400,000	

事務事業の成果に関する説明

屋外体育施設の利用状況

1. 芽室公園運動施設

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R5計	R4	R3
町営野球場	35	660	848	1,209	480	499	310	62	4,103	5,136	2,491
芽室公園運動広場		1,272	770	854	436	620	381		4,333	8,470	5,538
芽室公園庭球場				92	150	159	145	16	562	724	520

2. 南公園運動施設

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R5計	R4	R3
南公園運動広場					620				620	775	299
南公園庭球場	28	433	289	322	255	323	124	14	1,788	1,633	1,385

3. 南多目的運動施設

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R5計	R4	R3
アーチェリー場	23	115	63	63	91	52	10	1	418	396	187
ソフトボール場		230	220	265	215	204	60		1,194	1,104	605

4. サッカー場

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R5計	R4	R3
小学生以下			422	1,010	1,005	1,170			3,607	3,550	1,353
中学生			89	463	293	165			1,010	978	845
高校生・一般			64	193	179	185			621	517	248
計			575	1,666	1,477	1,520			5,238	5,045	2,466

5. パークゴルフ場(団体利用の申込み状況)

施設名	R5		R4		R3	
	団体数	利用人数	団体数	利用人数	団体数	利用人数
美生川河川敷公園	7	528	10	698	5	516
東工北1公園	4	155	4	117	3	105
芽室霊園緑地公園	17	2,661	10	2,499	7	2,097
芽室公園運動広場	2	58	2	37	1	20
計	30	3,402	26	3,351	16	2,738

6. 西運動広場(平成29年度より開設)

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R5計	R4	R3
西運動広場	100	2,200	2,293	1,275	913	1,295	1,955	30	10,061	6,978	3,541

屋外体育施設の維持管理の状況

【修繕】

屋外体育施設芝生修繕(芽室公園野球場、芽室町サッカー場) 3,102,000円

【備品購入】

パークゴルフ場ホールカップ等購入(芽室霊園緑地公園) 629,640円

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
芽室町テニス場 改修工事	17,193,000	0	15,400,000	1,793,000	0	(有)五十嵐建設 R5.5.1~7.18
合 計	17,193,000	0	15,400,000	1,793,000	0	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	5 保健体育費	3 総合体育館管理費	220406 総合体育館維持管理事業

事務事業名	総合体育館維持管理事業
-------	-------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 総合体育館の維持管理
2. 対象(何を対象にしているか) 町民、スポーツ競技団体等
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 競技スポーツだけではなく、体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツに繋げる。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 経年劣化の改善や耐震性向上のため平成24年度に改修工事を実施し、以降、計画的に施設備品や施設の整備を実施。施設災害発生時の町の避難施設に指定されていることから平成26年度にバイオマス発電設備を設置し、災害時の利用に備え、日常的に運転を継続している。令和5年度には、施設内電気・機械設備等の改修工事、また、旧トレーニングルームをキッズスペースに、休憩スペースをアスリートミュージアムに改修工事を実施した。令和6年度は、第一アリーナ及びギャラリースペースの暖房改修工事や研修室の空調設備整備工事を実施する。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 社会体育施設指定管理者と情報共有を図り、今後も計画的な施設整備、備品整備を行っていく。また、隣接する芽室町営水泳プール建替に伴い、町営水泳プール、トレーニングセンター、総合体育館の連絡方法や利用者の動線を確保するとともに、町営水泳プール跡地利用を含めた周辺の屋外体育施設の整備や総合体育館周辺の将来的な土地利用の方向性を検討する。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円		68,645,500	
	地方債	円	1,200,000	77,500,000	307,800,000
	その他(使用料等)	円	4,638,067	69,185,174	4,177,000
	一般財源	円	63,774,288	60,058,315	64,101,000
	事業費計	円	69,612,355	275,388,989	376,078,000
活動指標	施設数	施設	1	1	1
	開館日数	日	350	349	347

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
総合体育館使用料	円	4,521,792		
総合体育館自動販売機等使用料	円	115,635	81,750	39,000
スポーツ振興基金繰入金	円		7,000,000	
私用電話料(総合体育館管理費)	円	640		
都市構造再編集集中支援事業国庫補助金	円		68,645,500	
総合体育館改修工事業債	円	1,200,000	77,500,000	307,800,000
公共施設整備基金繰入金	円		62,086,924	4,138,000
デジタル田園都市国家構想交付金	円		16,500	

事務事業の成果に関する説明

芽室町総合体育館の利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R3	個人	2,010	1,170	471	1,660	1,476	1,610	1,790	2,004	1,863	2,195	2,482	18,731
	団体	4,580	1,619	1,339	4,357	2,794	176	4,824	4,875	5,012	3,248	1,814	37,749
	計	6,590	2,789	1,810	6,017	4,270	176	6,434	6,665	7,016	5,111	4,009	56,480
R4	個人	1,658	1,758	1,587	1,818	1,561	1,608	1,713	1,752	1,575	1,805	1,683	20,448
	団体	3,846	4,224	5,466	4,185	3,781	4,770	4,947	3,787	4,070	4,241	4,542	52,780
	計	5,504	5,982	7,053	6,003	5,342	6,378	6,660	5,539	5,645	6,046	6,225	73,228
R5	個人	1,762	1,647	1,656	1,258	893	997	915	560	784	947	1,036	19,446
	団体	4,230	3,495	4,133	4,195	4,023	4,487	4,888	3,226	4,687	3,652	5,316	51,762
	計	5,992	5,142	5,789	5,453	4,916	5,484	5,803	3,786	5,471	4,599	6,352	71,208

芽室町総合体育館の競技別利用状況

競技名	R3	R4	R5
バドミントン	17,005	21,880	20,612
卓球	4,701	6,084	5,925
テニス	2,556	2,722	2,186
バレーボール	4,552	7,748	7,743
ミニバレー	4,357	5,849	6,072
バスケットボール	540	1,074	2,940
剣道	1,683	2,050	2,179
柔道	869	1,061	911
空手	2,069	2,763	1,920
テニポン	2,310	3,322	3,377
トレーニング	8,704	9,462	1,922
キッズスペース			5,600
研修室	411	779	1,021
その他	4,170	4,504	6,684
計	53,927	69,298	69,092

芽室町総合体育館教室等の開催(指定管理自主事業)

講座名	教室数	延べ人数
CLUB SOTAI	40	605
SOTAI FITNESS	24	194
キッズ教室(幼児)	24	362
キッズ教室(小学生)	24	348
うごトレKIDS(幼児)	8	146
うごトレJr(小学生)	8	111
計	128	1,766

芽室町総合体育館の維持管理の状況

【修繕】

総合体育館熱媒ボイラー制御リレー取替修繕 183,700円

【備品購入】

- ①総合体育館用 粉末ABC消火器 59,400円
- ②キッズスペース備品(ころころんマット、サークルプール、ベビーベット、) 4,950,000円
- ③授乳室 3,475,780円
- ④キッズスペース備品(エアマット、アスレチックスライド) 1,469,644円

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
芽室町総合体育館 外構整備工事	79,376,000	26,482,000	23,800,000	29,094,000	0	宮坂・川田・鍵谷 特定建設工事共同 企業体 R5.6.6~10.27
芽室町総合体育館 内部改修工事	119,449,000	39,858,500	51,700,000	27,890,500	0	北土開発・鍵谷 特定建設工事共同 企業体 R5.9.7~R6.2.5
合 計	198,825,000	66,340,500	75,500,000	56,984,500	0	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名	
9	教育費	5 保健体育費	4 プール管理費	220409	温水プール維持管理事業

事務事業名	温水プール維持管理事業
-------	-------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 温水プールの維持管理を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民、スポーツ団体
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 競技スポーツだけではなく、体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツに繋げる。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 開館から29年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいることから、平成26年度に施設の改修計画に向けた設計委託業務を実施し、平成27年度に町民からなる検討会議での議論を踏まえ、教育委員会としての施設改修に関する基本方針をまとめた。平成30年度にはこの基本方針を踏まえ、町として施設建替基本構想を策定、令和4年度に町営水泳プールの建替工事を実施し、令和5年7月1日から供用を開始した。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 新たな町営水泳プールは、令和5年7月1日から供用を開始し、新たな指定管理者により施設の維持管理を行っているが、少年団の解散等があり施設の利用人数は減少したところであるが、本施設は、トレーニングセンター、総合体育館を含めて一体的に町民の健康増進に繋がる施設として寄与しているところである。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円	1,400,000	598,250,045	
	地方債	円		874,300,000	
	その他(使用料等)	円	6,431,781	190,817,343	37,000
	一般財源	円	55,913,602	53,863,444	62,424,000
	事業費計	円	63,745,383	1,717,230,832	62,461,000
活動指標	施設数	施設	1	1	1
	開館日数	日	310	231	265

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
プール使用料	円	3,333,785		
プール自動販売機等使用料	円	155,956	36,441	37,000
私用電話料(プール管理費)	円	40		
都市構造再編集集中支援事業国庫補助金	円	1,400,000	30,497,000	
温水プール建設事業債	円		380,900,000	
日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金	円	2,942,000		
公共施設整備基金繰入金	円		116,427,857	
温水プール建設事業債 R4繰越	円		493,400,000	
都市構造再編集集中支援事業国庫補助金 R4繰越	円		567,753,045	
公共施設整備基金繰入金 R4繰越	円		74,353,045	

事務事業の成果に関する説明

芽室町温水プールの利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
R3	個人	1,487	770	657	3,016	1,963	1,352	1,126	1,648	1,476	1,472		14,967	
	団体	1,131	510	696	2,700	1,578	860	1,055	1,264	1,218	785		11,797	
	計	2,618	1,280	1,353	5,716	3,541	2,212	2,181	2,912	2,694	2,257		26,764	
R4	個人	1,360	1,630	1,945	2,409	1,880	1,626	1,371	1,505	1,264	1,382	1,372	1,453	19,197
	団体	987	988	2,825	2,549	1,490	2,134	1,039	896	1,199	1,235	1,041	149	16,532
	計	2,347	2,618	4,770	4,958	3,370	3,760	2,410	2,401	2,463	2,617	2,413	1,602	35,729
R5	個人				5,408	3,447	2,125	1,250	1,322	1,442	1,050	1,502	1,452	18,998
	団体					605	2,132	93	50	195	14	20	48	3,157
	計				5,408	4,052	4,257	1,343	1,372	1,637	1,064	1,522	1,500	22,155

※新たな温水プールは、令和5年7月1日から供用開始

水泳教室等(指定管理業務)の開催状況

対象	回数	延べ参加者数
クロール初級	25	95
クロール初中級	4	17
クロール中上級	25	91
背泳ぎ初級	27	93
背泳ぎ初中級	2	11
背泳ぎ中上級	24	77
平泳ぎ初級	28	151
平泳ぎ中上級	33	125
バタフライ初級	54	251
フィンスイム	8	30
アクアビクス	16	13
水中ウォーキング・ジョギング	29	28
四泳法のうち2種目(特別レッスン)	22	49
色々キックノスイム	6	6
色々ターンノスイム	4	5
初めてのレッスン	9	9
ワンポイントスイム	10	4
冬の短期教室	1	1
春の短期教室	1	6
計	328	1,062

芽室町営水泳プール(温水プール)の維持管理の状況

【修繕】

シューズロッカー改修費用 50,400円

【備品購入】

- ①温水プール等備品(プール用備品、トレーニング備品、計測システム) 68,279,501円
- ②温水プール等備品(事務用備品) 19,250,000円
- ③温水プール等備品(受付カウンター・ロールスクリーン) 2,310,000円
- ④業務用Wi-Fiアクセスポイント購入 357,500円
- ⑤脱着式手すり 4,400,000円
- ⑥ポジット安定脚(両面用) 62,700円
- ⑦更衣室・清掃用備品 99,228円
- ⑧インフォメーションボード 145,200円
- ⑨コードレス掃除機 35,173円
- ⑩業務用除湿器・加湿器 76,532円

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
町営水泳プール等 整備工事 (R4繰越)	1,110,459,090	555,229,545	493,400,000	61,829,545	0	宮坂・川田・鍵谷 特定建設工事共同 企業体 R4.5.6~R6.3.8
町営水泳プール等 整備工事	433,137,910	30,497,000	380,900,000	21,740,910	0	宮坂・川田・鍵谷 特定建設工事共同 企業体 R4.5.6~R6.3.8
合 計	1,543,597,000	585,726,545	874,300,000	83,570,455	0	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	5 保健体育費	5 健康プラザ管理費	220416 健康プラザ維持管理事業

事務事業名	健康プラザ維持管理事業
-------	-------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 健康プラザの維持管理を行う
2. 対象(何を対象にしているか) 町民、スポーツ団体等
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 競技スポーツだけでなく、体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツに繋げる。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ゲートボールを中心に通年で様々な競技に利用されている。特に冬期間は、ゲートボールやテニス、フットサルだけではなく、野球など屋外競技の冬期間の練習場としての利用実績を持つ。平成28年度にアリーナ人工芝を更新したが、損傷(摩耗)が激しく早期の更新を考える必要がある。また、懸案事項となっている天井部分からの管漏への有効な対策を検討する必要がある。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 平成28年度に日本スポーツ振興センターの助成制度を活用して整備したアリーナ人工芝の長寿命化を図るため、保護用砂の散布を実施するとともに、計画的な設備の更新などに努める。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円	868,808	51,876	270,000
	一般財源	円	11,958,750	17,772,322	18,759,000
	事業費計	円	12,827,558	17,824,198	19,029,000
活動指標	施設数	施設	1	1	1
	開館日数	日	361	349	347

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
健康プラザ使用料	円	746,990		
健康プラザ自動販売機等使用料	円	119,028	51,876	20,000
私用電話料(健康プラザ管理費)	円	2,790		
公共施設整備基金繰入金	円			250,000
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

芽室町健康プラザの利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R3	個人	376	265	46	99	86	358	379	467	618	952	762	4,408
	団体	3,044	748	410	1,507	815	2,193	3,848	3,452	2,348	1,272	2,168	21,805
	計	3,420	1,013	456	1,606	901	2,551	4,227	3,919	2,966	2,224	2,930	26,213
R4	個人	409	293	139	229	229	298	316	164	246	415	296	3,343
	団体	2,438	1,551	2,422	1,672	1,316	1,393	2,132	3,069	2,711	3,031	3,212	28,441
	計	2,847	1,844	2,561	1,901	1,545	1,691	2,448	3,233	2,957	3,446	3,508	31,784
R5	個人	349	323	77	242	137	229	271	239	147	376	375	3,224
	団体	2,386	1,517	1,892	1,536	1,674	1,549	2,085	2,805	3,312	2,704	2,858	27,438
	計	2,735	1,840	1,969	1,778	1,811	1,778	2,356	3,044	3,459	3,080	3,233	30,662

芽室町健康プラザの競技別利用状況

競技名	R3	R4	R5
ゲートボール	9,501	13,119	14,159
サッカー	7,789	9,320	8,154
野球	4,542	4,177	3,146
ソフトボール	486	348	363
テニス	1,444	1,445	1,514
アーチェリー	607	880	1,024
パークゴルフ	1,262	1,218	1,276
その他	582	1,277	1,026
計	26,213	31,784	30,622

芽室町健康プラザの維持管理の状況

【修繕】

- ①煙感知器交換修繕 44,000円
 ②鍵・フック取付(ゲートボール資料室) 104,500円

【備品購入】

- 健康プラザ用 粉末ABC消火器 29,700円

款		項		目		事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	5	保健体育費	6	トレーニング施設管理費	220436	トレーニング施設維持管理事業

事務事業名	トレーニング施設維持管理事業
-------	----------------

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) トレーニング施設の維持管理を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民、スポーツ団体
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 体力の向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツに繋げる。

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 隣接する町営水泳プールは、開館から29年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいることから、令和4年度に町営水泳プールの建替工事を実施した。これに併せ、総合体育館内のトレーニング室においても機能の充実を図るべく、旧勤労青少年ホームへの機能移転を図り、令和5年7月1日から供用を開始した。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) トレーニングセンターは、令和5年7月1日から供用を開始し、新たな指定管理者により施設の維持管理を行っている。 本施設は、トレーニング機器が充実しており、昼夜問わず幅広く多くの方々に利用いただいている。また、施設内にはスタジオも整備しており、ヨガ等のエクササイズに利用いただいている。隣接する町営水泳プール、総合体育館を含めて一体的に町民の健康増進に繋がる施設として寄与しているところである。

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2022年度	2023年度	2024年度
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円		13,219,360	10,775,000
	事業費計	円		13,219,360	10,775,000
活動指標	施設数	施設		1	1
	開館日数	日		263	349

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2022年度	2023年度	2024年度
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

芽室町トレーニングセンターの利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R5 個人				2,166	2,488	2,235	2,244	2,601	2,623	2,987	3,648	3,706	24,698
計				2,166	2,488	2,235	2,244	2,601	2,623	2,987	3,648	3,706	24,698

※トレーニングセンターは、令和5年7月1日から供用開始

トレーニングセンター内スタジオにおける運動教室の開催状況

対象	回数	延べ参加者数
青竹サーキット	26	18
腰痛改善ストレッチ	34	25
JAZZHIPHOP	31	80
マットサイエンス	22	13
Q-Ren骨盤体操	34	32
筋膜リリース	98	108
立ったまま体操	20	21
かんたんヨガ	17	46
背骨コンディショニング	10	5
DXジャンプ	12	14
シャドーファイト	3	18
美ステップ	5	2
体幹トレーニング	13	4
自重トレーニング	9	2
計	334	388